

いがらし 清 きよし

I G A R A S H I K I Y O S H I



県政通信 2020 AUTUMN

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症 「秋冬期の感染拡大」回避に全力!

社会経済活動の継続と自然災害への対策も万全に

日ごろは、私いがらし清の政治活動にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。さて、中国・武漢に端を発する「新型コロナウイルス感染症」拡大の影響を受け、一時よりは若干の落ち着きを取り戻したものの、私たちは日々不安を感じながら、不便な生活を余儀なくされております。栃木県議会としても、既にコロナ対策として三次にわたる補正予算を成立させ、その総額は2,000億円にのぼります。首都圏に位置する本県としては、気を緩めることなく、引き続き感染拡大防止に全力で取り組むとともに、医療、経済、教育をはじめとする各分野において、コロナ終息には今しばらく時間を

要することや、終息後の社会は明らかに変容しているだろうことを念頭に、体制の強化や新たな仕組みづくりに取り組まなくてはなりません。このような緊急事態だからこそ、我々議員は、各地域の実情を把握し、県民の意見や要望を、スピード感をもって、しっかりと県政に反映する責任があります。私も、県議会の最大会派である自由民主党の政務調査会長として、感染拡大の防止と経済活動の維持の両立という難しい課題に、知事・県執行部とともに力を合わせて全力で取り組んで参ります。引き続き、県民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「コロナを乗り越え、日常を取り戻そう!」

令和二年度県第四次補正予算案

自民党・政務調査会の事業提案・予算要望により、 原案より18億2,750万円の増額を確保!



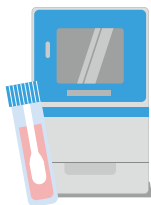
「政調会記者会見(下野新聞 令和2年8月27日)」

福田富一知事ならびに県執行部から示された令和二年度第四次補正予算の原案740億円に対し、私は自由民主党栃木県連の政務調査会長として、県民の皆様からの要望や各議員の意見等を踏まえて、事業の提案と予算の増額を要望しました。予算折衝の結果として、原案から18億2,750万円が増額されました。今後、精査された補正予算案が9月17日開会の第367回通常会議に上程されますが、他の政党・会派の議員らと慎重に審議をおこない、10月9日に成立するよう力を尽くします。

増額された主な予算案の内容

① 新型コロナウイルス感染症・ 季節性インフルエンザ検査費:5億円 (政調会が制度創設を提案)

初期症状からでは、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの臨床的な鑑別が困難なことから、日本感染症学会などが推奨する季節性インフルエンザとの同時検査を県内の約160の医療施設等で実施し、新型コロナウイルス感染症の秋冬期の感染拡大の未然防止を図ります。



② 感染症専門家派遣事業:150万円 (政調会が制度創設を提案)

感染症を専門とする認定看護師のチームを社会福祉施設に派遣して、施設における入所者、スタッフの感染防止策をプロの目で検証、必要があれば改善を勧告し、クラスター発生の未然防止を図ります。

③ サプライチェーン再構築事業費:1億円 (政調会が5,000万円を上乗せ要求)

中小企業や小規模事業者がサプライチェーンの再構築のためにおこなう生産設備の整備を支援します。

④ 再起企業支援事業費:2億円 (政調会が1億円を上乗せ要求)

中小企業や小規模事業者の新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式の実践のための機械装置の整備や商品開発を支援します。

⑤ 緊急減災・防災対策事業費:10億円 (政調会が10億円を要求)

河川の氾濫への対策を更に強化するため、河川の堆積土除去を、すでに実施されている堤防強化等の昨年の台風19号被害からの復旧・復興事業の箇所を追加で導入することで防災効果の向上を図ります。



⑥ 治山事業費:5,000万円 (政調会が5,000万円を要求)

昨年の台風19号被災箇所では、今年の長梅雨により土壌が脆弱化しており、今後の気象状況によっては再度災害の発生が懸念されるため、緊急的な対策強化を図ります。

⑦ 農業水利施設長寿命化事業費:3,000万円 (政調会が3,000万円を要求)

昨年の台風19号被災の復旧・復興事業の付近において、事業の相乗効果が期待できる箇所において、農業水利施設の長寿命化を前倒しで進めます。

⑧ IC機搭載バス運用効率化事業費:9,600万 (政調会が9,600万円を要求)

公共交通のスマート化、利便性向上の一環として、電子決済を可能とするIC機を搭載したバスの乗降口の増加に対応した道路・歩道の改良を来春の本格運用前に完了します。



コロナ
対策

これまでに 総額2千億円の予算を確保!

「新型コロナウイルス感染症」対策の 各種事業が実施されています。



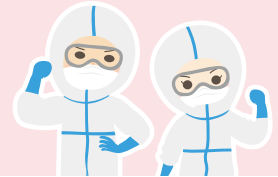
「自民党の代表質問」

1

国の緊急事態宣言の対象区域が全国に拡大したことを受け、4月17日に自民党から知事へ18項目に及ぶ緊急要望書を提出。その内容を反映した補正予算案が臨時議会に提出され、迅速な審議を図るために予算特別委員会での審議を省略し、本会議場での各政党・会派の代表者による質疑質問がおこなわれ、4月28日に248億円の令和二年度補正予算(第一次)が成立しました。

主な事業

- 県の休業要請に応じた事業者への協力金
- 外来・入院協力医療機関等の体制強化
- 地域外来・検査センター整備による検査体制の強化
- 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備
- 雇用調整助成金への上乗せ助成
- 事業継続のための資金繰り支援 等



2

栃木県が緊急事態宣言の対象から除外されたこととともない、感染症防止と社会経済活動再開の観点から、6月定例会において追加補正予算案が審議され、6月12日に122億円の令和二年度補正予算(第二次)が成立しました。

主な事業

- 医療従事者への応援金、入院協力医療機関等への協力金の支給
- 検査体制・医療提供体制の強化
- 県産農畜産物の生産支援、ECを活用した販路拡大支援
- 県民一家族・旅行の推進、3密を回避し地域を周遊できる旅行商品の造成 等

3

新型コロナウイルス感染症対策の国の第二次補正予算に対応し、感染の再拡大に備えた医療提供体制の強化と社会経済活動の本格化を図るため、6月12日に自民党から知事へ緊急要望書を提出。その内容を反映した補正予算案が臨時議会に提出され、迅速な審議を図るために予算特別委員会での審議を省略し、本会議場での各政党・会派の代表者による質疑質問がおこなわれ、6月29日に978億円の令和二年度補正予算(第三次)が成立しました。

主な事業

- 救急・周産期・小児医療機関への院内感染防止対策支援金の支給
- 重点医療機関等の体制等整備への助成
- 抗原検査キットの配備、妊婦へのPCR検査実施支援等、調査・検査体制の強化
- プレミアム付商品券の発行等による消費喚起、観光需要回復の促進
- 県産農畜産物等の需要回復の促進
- 補習等のための学習指導員配置、ICT支援員の配置 等



「PCR検査の様子」

自民党議員から提出した4度の緊急要望の内容については、自民党県連HPをご覧ください。

HPアドレス ▶▶ <http://www.tochigi-jimin.com>

災害
対策

令和元年台風19号災害からの復旧・復興と 防災・減災事業の推進について



「台風19号被害現地調査」

7月に入り、九州をはじめ各地において、線状降水帯による大雨で大規模災害が発生しています。お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。ニュース等で映像を見ていると、昨年10月の台風19号災害が思い起こされます。今後あのような大規模災害が起こらないように、県を挙げて最大限の努力を続けていかなければなりません。県においては、県議会における議論を踏まえ、災害対応における課題等を洗い出し、検証作業を行いました。避難行動の見直し、ハザードマップの作成・改定、ダムの事前放流や河川改修の促進など、命を守るためのソフト・ハード両面からの対策が急務です。中でも、河川の氾濫を防ぐために、堆積土砂の除去や遊水地の整備等を併せて行い、治水効果を最大限高めるための取組みが求められています。特に、河川の堤防強化対策については、我々自民党・政調会の事業提案・予算折衝の結果、「堤防強化緊急対策プロジェクト事業」として重点的に実施していくことになっています。さらに今年度は、県独自に「排水ポンプ車」を導入することになりました。排水ポンプ車は、台風や豪雨による洪水時に、浸水被害が発生した現場に速やかに出動し緊急排水作業を行うことにより、被害の軽減を図るものです。数年前に「可搬式ポンプ」を各土木事務所に配備していただきましたが、これに加えて排水ポンプ車も小山市と野木町を管轄する栃木土木事務所に配備していただける予定です。私たちの安心・安全な暮らしを守り、災害に強いとちぎづくりに積極的に取り組んでまいります。

とちぎ自民党議員会 政務調査会長

栃木県議会議員 **五十嵐 清**

〒323-0808 小山市出井1859-50

TEL.0285-20-3939 FAX.0285-20-5668